

第2外国語として日本語を教える

『日本語教育』

2021年春

日本語教育能力検定試験対策本
日本語教育研究・文法語彙辞典
これから日本語教師を目指す人
日本語教員に役立つコンテンツをまとめました。

日本語教育能力試験



『日本語教育能力検定試験に

合格するための基礎知識』アルク

試験範囲は、音声、方言、心理学、教授法、日本語の歴史などなど大変幅広いです。本書はこれから検定試験を受け、日本語教師を目指す人にとって必要な重要項目を50に分け、それぞれをコンパクトに解説。「検定試験に合格し、日本語教師になるためにはどんな知識が必要なのか」を一気につかむために役立ちます。最初の一冊としてお薦め。

『日本語教育能力検定試験合格するための本』

アルク

検定試験の概要や試験内容を分析した豊富な書きおろし問題、日本語教育界のトレンドや検定試験当日の流れなど、合格に向けて役立つ情報が満載です！試験の最新傾向や頻出問題が分かり、聴解試験、記述式問題を得意科目にできます。初めての検定試験受験も安心！受験者必読！

最初に読んでおきたい本



『やさしい日本語のしくみ』くろしお出版

これから日本語学の勉強を始める人や日本語教師になる人のための、日本語入門書。

『第二言語習得について

日本語教師が知っておくべきこと』くろしお出版

これから日本語教育をめざす人が最初に読む第二言語習得の入門書、現職の教師の方が教室活動を見直す1冊として最適。

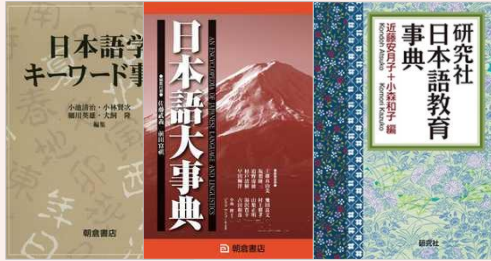
『言語学入門』研究社

言語学の基礎的な知識を身につけておきたい日本語教師を目指す人の資格試験「日本語教育能力検定試験」の対策としても最適です。

価格等は「日本語教育」カタログ一覧リストをご覧ください↓（2021年4月1日現在）

<https://www.kinokuniya.co.jp/03f/ebook/kinoden/img/KD0216.xls>

日本語事典



『日本語学キーワード事典』 朝倉書店
日本語学のキーワード400項目を精選、これらに対応する英語を付した。国語・日本語教育に携わる人々、日本語に関心のある人々のための必携書。

『研究社 日本語教育事典』 研究社
日本語教育に携わる人を対象に、日本語教育に関わる重要分野を広く網羅した用語事典。代表的な基本用語と重要用語を厳選して、最先端の知見を結集し詳細にわかりやすく解説。

『シリーズ言語学と言語教育』『現場に役立つ日本語教育研究』



『ニーズを踏まえた語彙シラバス』 くろしお出版
文法・語彙項目の要・不要や配列が日本語を習得していく上で妥当かどうか、コーパスなどのデータを用いて網羅的に検証し、新たな指導項目を提示する。

『日本語教育における「のだ」の研究』 ひつじ書房
本書は、日本語学習者にとって最も習得困難な表現の一つであるノダを包括的に扱い、ノダの全体像を掴むことを試みる。

『シリーズ・日本語のしくみを探る』シリーズ



『シリーズ・日本語のしくみを探る』全7巻 研究社
日本語が新鮮に見えてくる、まったく新しいタイプの入門書。Q&A方式で解説を展開、詳しい注釈付きで予備知識のない方でもすんなり楽しみながら学べます。「日本語語用論のしくみ」「言語学のしくみ」「日本語音声学のしくみ」は日本語教育能力試験の対策に最適です。

『日本語教育 よくわかる』シリーズ



『日本語教育よくわかる音声』 アルク
音声を学習するのは初めてという方でも理解しやすいように、多くの音声学テキストで取られる提出順ではなく、「易→難」へと学習が進められるように構成を工夫しています。

『日本語教育よくわかる文法』 アルク
「日本語学習者はどのような間違いをするのか」「なぜ間違えたのか」という視点から日本語文法を考え、重要ポイントをわかりやすく説明しています。

文法



『**一步進んだ日本語文法の考え方**』くろしお出版
シンプルで分かりやすい文法授業を目指すための参考書。典型的なルールと少しの例外を頭に入れて、無理のない導入をはかります。

『**文法コロケーションハンドブック**』くろしお出版
初級日本語の93の文法項目について「ある文法項目と一緒に、こういう動詞がよく使われる」という指標を示し、その用法や意味を例文とともに解説。

文法・文型辞典



『**日本語文型辞典**』くろしお出版
普通の辞書では引けないような文の形を用例を交え、文型が場面や文脈の中でどのように使われているかを記述した辞典。

『**日本語基本文法辞典**』ジャパンタイムズ
外国人には難しい日本語の基礎的なことばの使い方について、現代日本語研究の最新の成果を盛り込んで、あいまいさを残すことなく懇切に説明。

『日本語多義語学習辞典』シリーズ



『**日本語多義語学習辞典**』全3巻 アルク
名詞編/動詞編/形容詞・副詞編
ネットワーク図とイメージで視覚的に多義語を学習。認知言語学の理論から生まれた画期的な日本語辞典です。「名詞編」では、主に初級で学習する基本名詞のうち多義性の強い121語を、「動詞編」の基本動詞では多義性の強い104語を、「形容詞・副詞編」では基本形容詞・副詞のうち多義性の強い84語を選び、多義の構造をネットワーク図で示します。また、イラストとともにそれぞれの意味を説明しますので、イメージで多義語を理解できるようにになっています。

日本語表現



『**日本語類義表現使い分け辞典**』研究社
日本人がふだん何気なく使っている類義表現の使い分けとニュアンスの違いを例文を駆使しながら分かりやすく解説します。

『**研究社日本語口語表現辞典**』研究社
国語辞典には載っていない、あるいは載っていても使い方や例文がないために、学習者や日本語教師が苦勞している「口語表現」「話し言葉」に焦点を当てた辞典。くだけた表現や若者言葉だけでなく古い言葉や方言も取り上げた。

授業づくり

『日本語教師のためのアクティブ・ラーニング』

くろしお出版

学習者の「主体的・対話的で深い学び」を引き出すために、授業をどうデザインすればよいのか。既存の授業を見直すヒント、ICTの活用方法など、教師の自己成長を促すための具体的な手法が満載。



『超基礎日本語教育』くろしお出版

日本語教育の基礎的な知識から実習まで。最新でもっともわかりやすい日本語教育の入門書。まずは日本語の模擬授業を体験してみることを最短距離で目指す。日本語教育を知る、日本語教師になりたい人の入り口に。

『日本語を教えるための教材研究入門』くろしお出版

日本語教科書の分析をとおして授業のあり方を考える初の入門書。授業で教科書を使う前にどう分析すればよいのか？教科書分析から教案を作成するには？教科書と「著作権」の関係とは？本書を使った授業用の付属資料をWeb公開。

『日本語授業の進め方 生中継』アルク

この道25年以上のベテラン教師の授業を取材し、それを写真入りで実況中継した形に作られています。主に初級レベルの23項目を取り上げています。日本語の授業がどんなものかイメージできず困っている、新入教師で授業の進め方に自信がない、という方におすすめです。

『JSLバンドスケール』明石書店

「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能別、かつ3つの年齢集団別の構成で、小中高の教員はじめ日本語教室の指導員、国際交流協会やNPOに所属する方に有用な一冊。

雑誌

『復刊 日本語』アルク

外国人受入れのための法整備が急激に進む中で、日本語教育の世界はどう拡大し、日本語教師の役割はどう変わっていくのか。日本語教師や日本語教師志望者必携の一冊。日本にやってくる外国人を支えるさまざまな法整備のわかりやすく解説します。また現在の日本語教育の中の動きと、そこで何が日本語教師に求められているのかを、さまざまな角度から捉えます。

『日本語ジャーナル』アルク

日本語を教える方、日本語を学ぶ方の総合学習マガジンです。日本語ニュースを題材にした読解・文法、文化、日本能力試験や留学試験についてなどの特集もあり。2007年5月～10月号のみの取り扱いです。



価格等は「日本語教育」カタログ一覧リストをご覧ください↓（2021年4月1日現在）

<https://www.kinokuniya.co.jp/03f/ebook/kinoden/img/KD0216.xlsx>